



JPX-NIKKEI 400

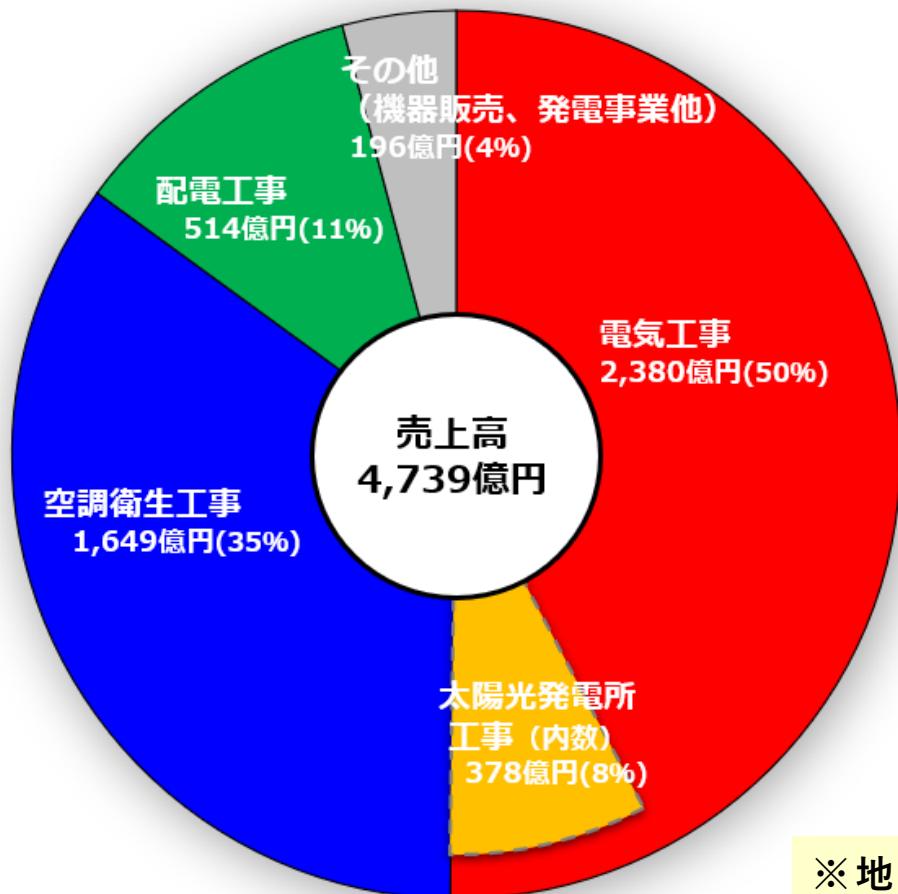
東証プライム：1959



九電工は、「クラフティア」へ。



事業ポートフォリオ「2024年度 実績」



※ 地域別売上高の割合

<電気・空調管 (太陽光除く) >

九州	66.2%
九州以外	33.8%

クラフティアの業績

(百万円、下段は売上高比率)

	2025年3月期 実績	2026年3月期			
		公表値	前年度比	中間期	進捗率
売上高	473,954 (100.0%)	490,000 (100.0%)	103.4%	207,725 (100.0%)	42.4%
売上総利益	70,701 (14.9%)	77,100 (15.7%)	109.1%	38,826 (18.7%)	50.4%
営業利益	41,388 (8.7%)	44,500 (9.1%)	107.5%	22,804 (11.0%)	51.2%
経常利益	44,434 (9.4%)	47,500 (9.7%)	106.9%	24,178 (11.6%)	50.9%
親会社株主に帰属する 当期（中間）純利益	28,883 (6.1%)	32,000 (6.5%)	110.8%	14,937 (7.2%)	46.7%
受注高	452,113	485,000	107.3%	275,256	56.8%

一株当たり 当期（中間）純利益	408.36円	452.42円	211.18円
配当金	140円 中間65円、期末75円		180円 中間90円、期末90円

K + CRAFT + I + A

Kyushu
九州/九電工

CRAFT
技術、技能、技巧

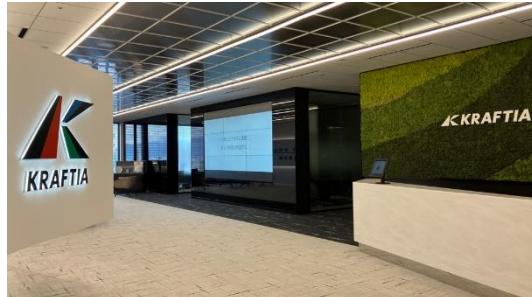
Innovation
革新

Action
実行

九州発の歴史や九電工の想いを受け継ぎながら、一人ひとりが技術・技能を磨き、
「快適な環境づくり」のために、「技術を革新」し、「技術で実行」する。

信頼に応える「技術実行力」と挑戦を止める「技術革新力」で、
可能性に満ちた「フロンティア」を切り拓いていきたい。

その決意を込めた名前が「KRAFTIA/クラフティア」です。



電気・空調・衛生をワンストップで施工

完成工事高の業界ランキング

総合: **4** 位

電 気: **3** 位

空調・衛生: **5** 位

建設通信新聞
(業界ランキング完工高2025.9.3)

- ：
- 直営工(単体)の人数
- 電気工事 ····· 744名
- 空調・衛生工事 273名
- ：
- 合計
1,017名
- ：

太陽光発電所への投資

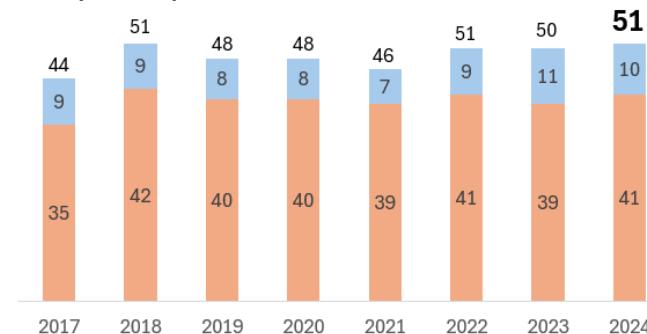
	グループ運営案件		
	発電所数	発電容量 (事業全体)	発電容量 (持分相当)
稼働	50	92.0 MW	87.4 MW
建設中	-	-	-
合計	50	92.0 MW	87.4 MW

(2025年9月30日時点)

	持分出資案件		
	発電所数	発電容量 (事業全体)	発電容量 (持分相当)
稼働	56	856.1 MW	248.2 MW
建設中	1	480.0 MW	69.1 MW
合計	57	1,336.1 MW	317.3 MW

売上高(億円)(その他の兼業売上高)

■太陽光(グループ運営)
■風力(グループ運営)



風力発電所への投資

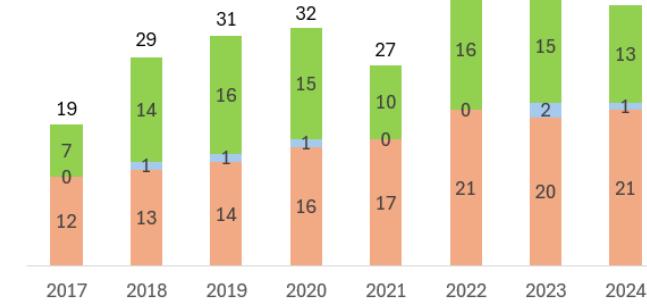
	グループ運営案件		
	発電所数	発電容量 (事業全体)	発電容量 (持分相当)
稼働	5	59.0 MW	50.0 MW
建設中	-	-	-
合計	5	59.0 MW	50.0 MW

(2025年9月30日時点)

	持分出資案件		
	発電所数	発電容量 (事業全体)	発電容量 (持分相当)
稼働	4	129.2 MW	43.4 MW
建設中	1	240.0 MW	24.0 MW
合計	5	369.2 MW	67.4 MW

利益(億円)(グループ運営: 営業利益、持分出資: 営業外収益)

■太陽光(グループ運営)
■風力(グループ運営)
■太陽光・風力(持分出資)



発電容量合計(持分相当) 522.1MW

中期経営計画（FY2025～FY2029）テーマ

Challenge & Grow2029 ～新たなステージに向かって未来に挑戦～

2025

2026

2027

2028

2029

Challenge ステージ

Grow ステージ

未来への投資・挑戦期間

更なる成長へ

財務目標数値

連結経常利益
2029年度
600億円

ROIC (※1)
2029年度
10%以上

投資総額
中計期間合計
2,000億円

株主還元
連結配当性向40%目安
累進配当の実施

※1 ROICは当社のビジネスモデルを勘案のうえ、投資効率を適切に示す「税引後事業利益」を分子にして計算
税引後事業利益=税引後経常利益 + 支払利息

A

成長投資

- カーボンニュートラル関連事業への投資拡大
- エネルギー貯蔵装置への投資(系統用蓄電池)
- DC(データセンター)関連事業への参画
- 不動産関連事業への参画
- 都市インフラ事業への参画(PPP/PFI事業)

B

M&A投資

- 事業領域の拡大に向けた戦略的なM&Aの実施(能動的M&A)
- 海外事業における協業拡大

C

ストックビジネス 投資

- 遊休不動産の利活用
- 蓄電池事業への投資
- 卒FIT電源の活用
- ソーラーカーポート等のPPA事業の拡大
- 環境価値取引への挑戦(非化石証書・Jクレジット等)
- 施設運営事業子会社の強化・再編

投資想定額
800億円

D

DX・研究開 発投資 他

- 業務効率化に向けた建設DXへの投資・研究
- 社内業務システムの再構築
- 生成AIの業務活用検討
- サイバーセキュリティ対策の推進
- 省エネ、省コスト、省人化に関する研究開発
- 環境価値の創造と卒FITに関する研究開発

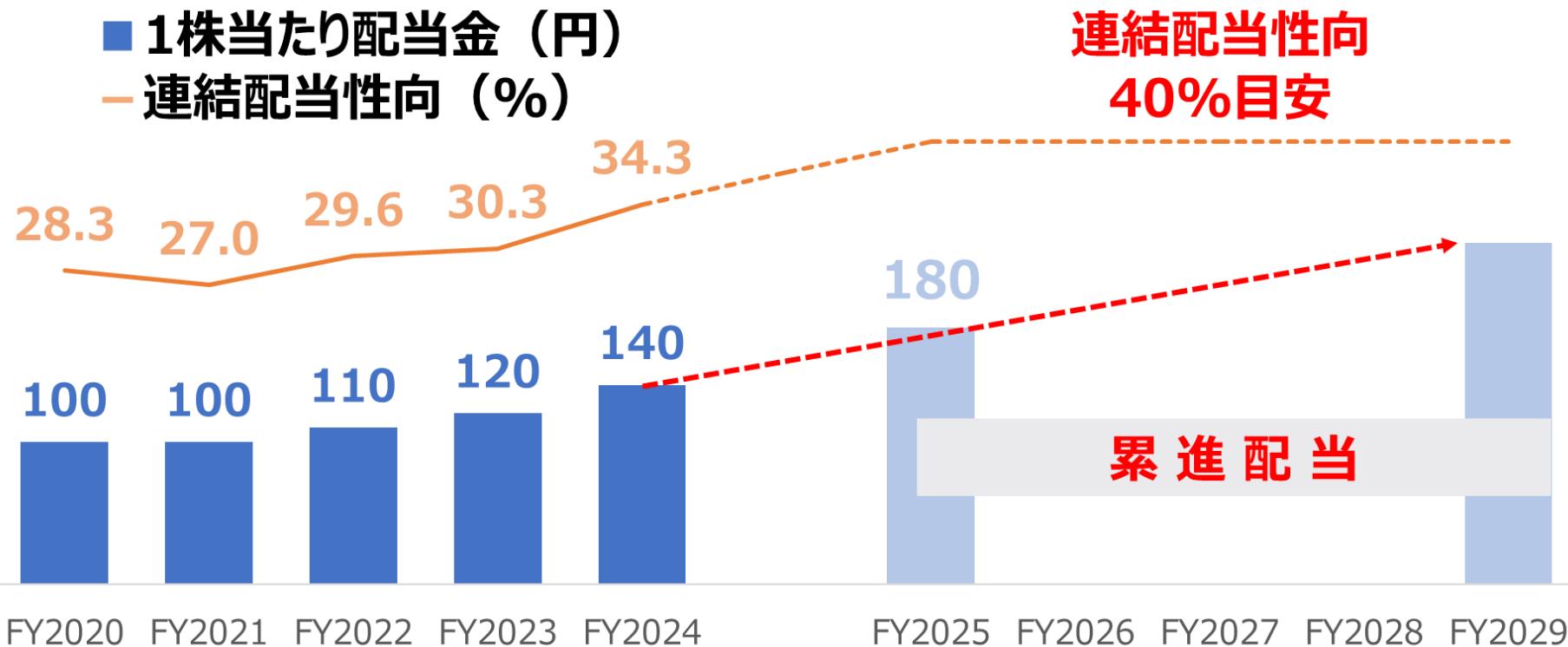
投資想定額
180億円

E

設備更新 (環境投資含)

- 老朽化した既存設備の更新、改修
- 自社設備のカーボンニュートラル化
- 循環型社会形成への対応
- 教育施設の充実

投資想定額
220億円



- 連結配当性向40%を目安に累進配当を実施
 - 中計期間内に800億円+aの配当及び自己株式の取得を実施
- 成長への投資と財務バランスを見ながら、最適資本構成に向けて機動的に自己株式の取得を実施

従業員数
(連結)
2029年度
12,000人

従業員年収水準
2029年度

45歳平均年収1,000万円

エンゲージメント
スコア
72点以上

教育訓練費
2029年度
2024年度比
50%UP

売上高生産性の向上 (1h当たり)
(電気・空調管)
前中計期間平均値 比
中計期間平均値 10%UP

高度専門人材
新規採用
2029年度までに
50名増加

女性管理職
2029年度
2024年度比
2倍

男性育児休暇
取得率
100%

中計期間における
人的資本経営
総費用の想定額

500億円程度

Appendix

社名	株式会社クラフティア
設立	1944年（昭和19年）12月1日
資本金	125億6,156万円（2025年9月30日現在）
上場市場：コード	東京証券取引所プライム市場、福岡証券取引所 1959
本社	福岡市中央区天神一丁目11番1号 ONE FUKUOKA BLDG.14階
東京本社	東京都豊島区東池袋三丁目1番1号サンシャイン60
拠点	本社、東京本社、国内13支店、101営業所・支社、海外7拠点
建設業認可	国土交通大臣許可（特29）第1659号
従業員数 (2025年9月末現在)	連結11,191名[単体6,937名]

企業理念

- 1 快適な環境づくりを通して社会に貢献します。
- 2 技術力で未来に挑戦し、新しい価値を創造します。
- 3 人をいかし、人を育てる人間尊重の企業をめざします。

長期ビジョン

ビジョンフレーズ

「MakeNext.～未来につなぐ笑顔のために～」

将来の**メガトレンド**を視野に持続可能な社会づくりに向けて私たちが果たす役割**«3つの貢献»**やビジョン実現に向けた基本姿勢を具体的に定めている。

当社グループが注視する4つの**メガトレンド**

- 1 分散型エネルギー社会への移行
- 2 環境意識の高まり
- 3 人口構造の変化と働き方の多様化
- 4 デジタル技術の進歩

私たちが果たす役割**«3つの貢献»**

- | | |
|---------------|---|
| 社会課題の解決 | 技術力を活かして、社会が抱える諸課題の解決に挑戦し、人々の豊かな暮らしの実現に 貢献 |
| 脱炭素社会の実現 | クリーンエネルギーを通じて、脱炭素社会の実現に 貢献 |
| 地域公共インフラ維持・発展 | 電力の安定供給や設備工事・都市開発等を通じて、地域インフラの維持・発展に 貢献 |

ビジョン実現に向けた基本姿勢

＜循環型社会実現への貢献＞

企業活動を通じ、社会課題を解決することによって、社会的価値と経済的価値を両立

サステナビリティ経営

- 当社は、企業理念と長期ビジョンに基づき、サステナビリティ基本方針とマテリアリティを制定している。このサステナビリティ基本方針のもとマテリアリティの解決に取り組むことで、持続可能な社会づくりに貢献するとともに企業価値向上を実現する。

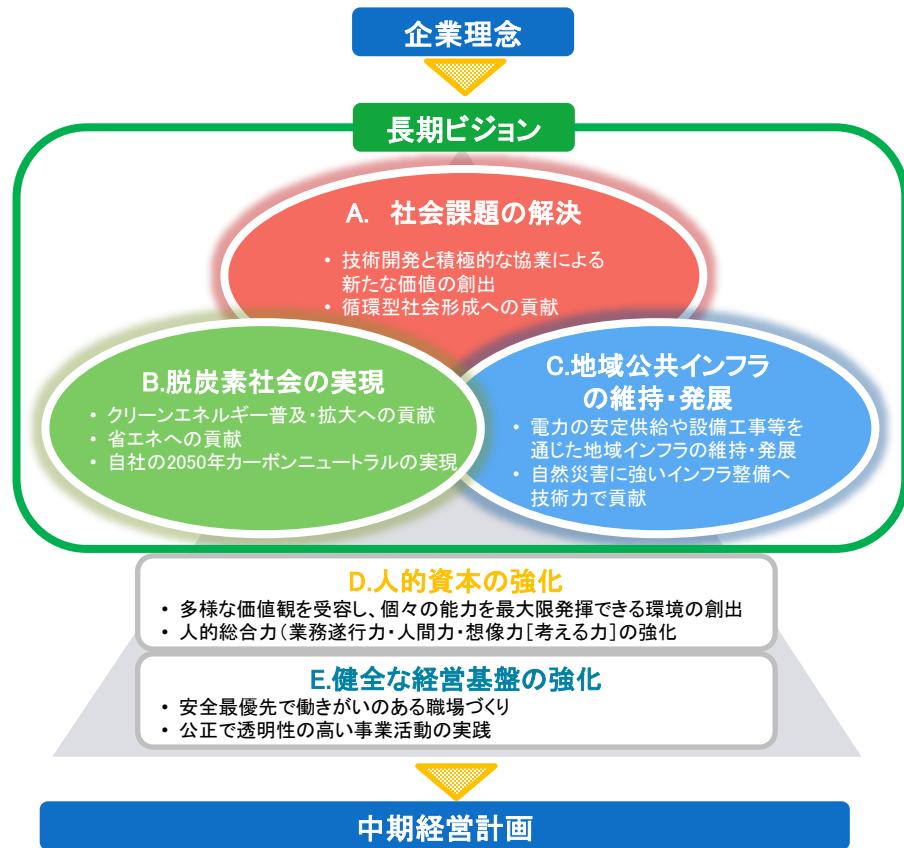
サステナビリティ 基本方針

クラフティアグループは、企業理念のもと、事業活動を通じ社会課題を解決することによって、持続可能な社会づくりと当社グループの企業価値の向上を実現してまいります。

マテリアリティ(重要課題)

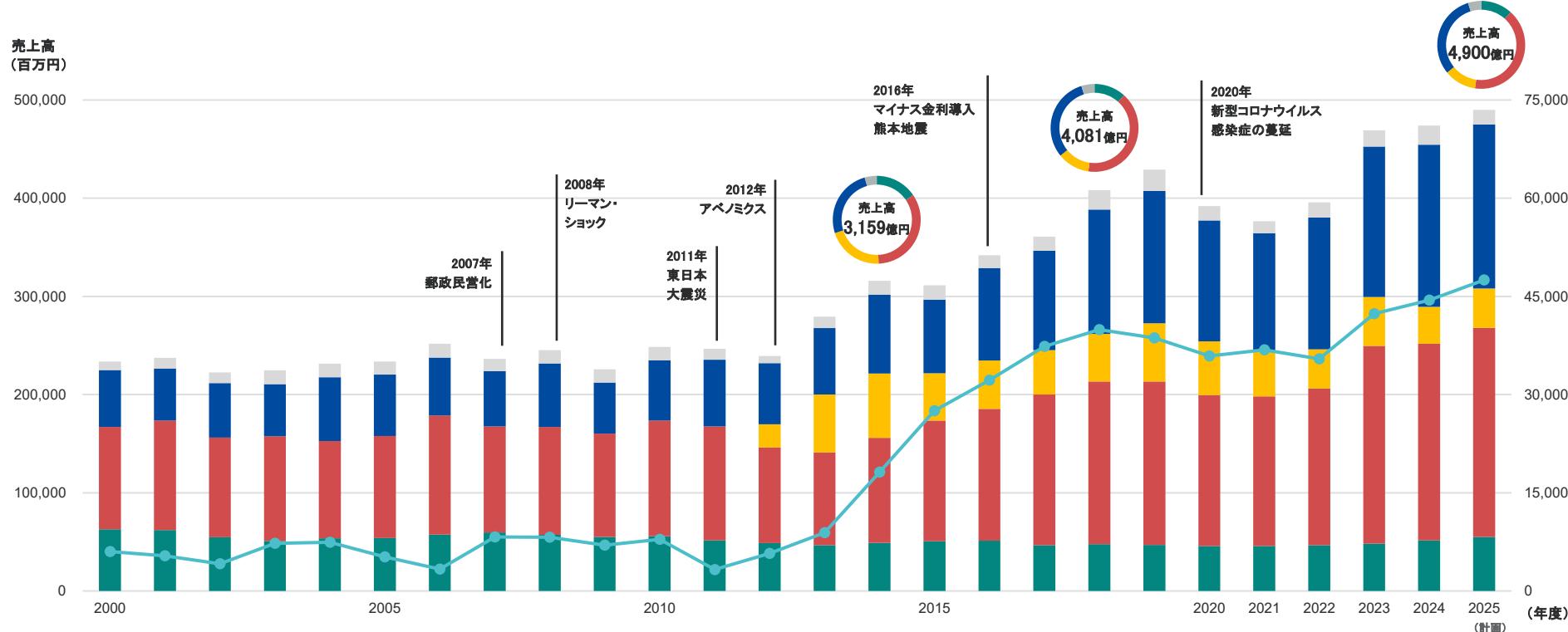
	社会的課題	重要課題(マテリアリティ)	体系図
E 環境	気候変動 脱炭素社会 エネルギー	クリーンエネルギー普及・拡大への貢献 省エネへの貢献 自社の2050年カーボンニュートラルの実現	B B B
	ダイバーシティ/ 労働慣行 雇用／人権	多様な価値観を受容し、個々の能力を最大限 発揮できる環境の創出	D
	労働安全衛生	安全最優先で働きがいのある職場づくり	E
S 社会	教育と研修	人的総合力(業務遂行力・人間力・想像力[考 える力])の強化	D
	地域コミュニティ	電力の安定供給や設備工事等を通じた 地域インフラの維持・発展	C
	防災	自然災害に強いインフラ整備へ技術力で貢献	C
I イノベーション	イノベーション	技術開発と積極的な協業による新たな価値の 創出	A
	廃棄物	循環型社会形成への貢献	A
G ガバナンス	組織統治 腐敗防止 コンプライアンス 公正な事業慣行 反競争的な行動	公正で透明性の高い事業活動の実践	E

マテリアリティの体系図



業績の推移（連結売上高・経常利益）

■ 配電工事 ■ 電気工事 ■ 空調・衛生工事 ■ 再エネ・ES事業他 ■ その他 ■ 経常利益



1944年からの25年	1970年からの25年	1995年からの25年	2020年からの25年
九州全域の電気工事・配電工事を担う企業として誕生した創業期	株式上場や創立50周年など確固たる経営基盤の確立期	首都圏や再生可能エネルギー分野への進出などによる成長期	創立100周年のサステナビリティ実現に向けての加速期

売上高・売上総利益の推移 <四半期会計期間>

(売上高、売上総利益：百万円)

(売上総利益率：%)

200,000

売上高

売上総利益

売上総利益率

通期実績

売上高 391,901
売上総利益 56,631
売上総利益率14.5%

通期実績

売上高 376,563
売上総利益 57,361
売上総利益率15.2%

通期実績

売上高 395,783
売上総利益 57,889
売上総利益率14.6%

通期実績

売上高 469,057
売上総利益 64,632
売上総利益率13.8%

通期実績

売上高 473,954
売上総利益 70,701
売上総利益率14.9%

中間期実績

売上高 207,725
売上総利益 38,826
売上総利益率18.7%

24.0

22.0

150,000

100,000

50,000

0

1Q
2Q
3Q
4Q
2021'3

1Q
2Q
3Q
4Q
2022'3

1Q
2Q
3Q
4Q
2023'3

1Q
2Q
3Q
4Q
2024'3

1Q
2Q
3Q
4Q
2025'3

1Q
2Q
3Q
4Q
2026'3

20.0

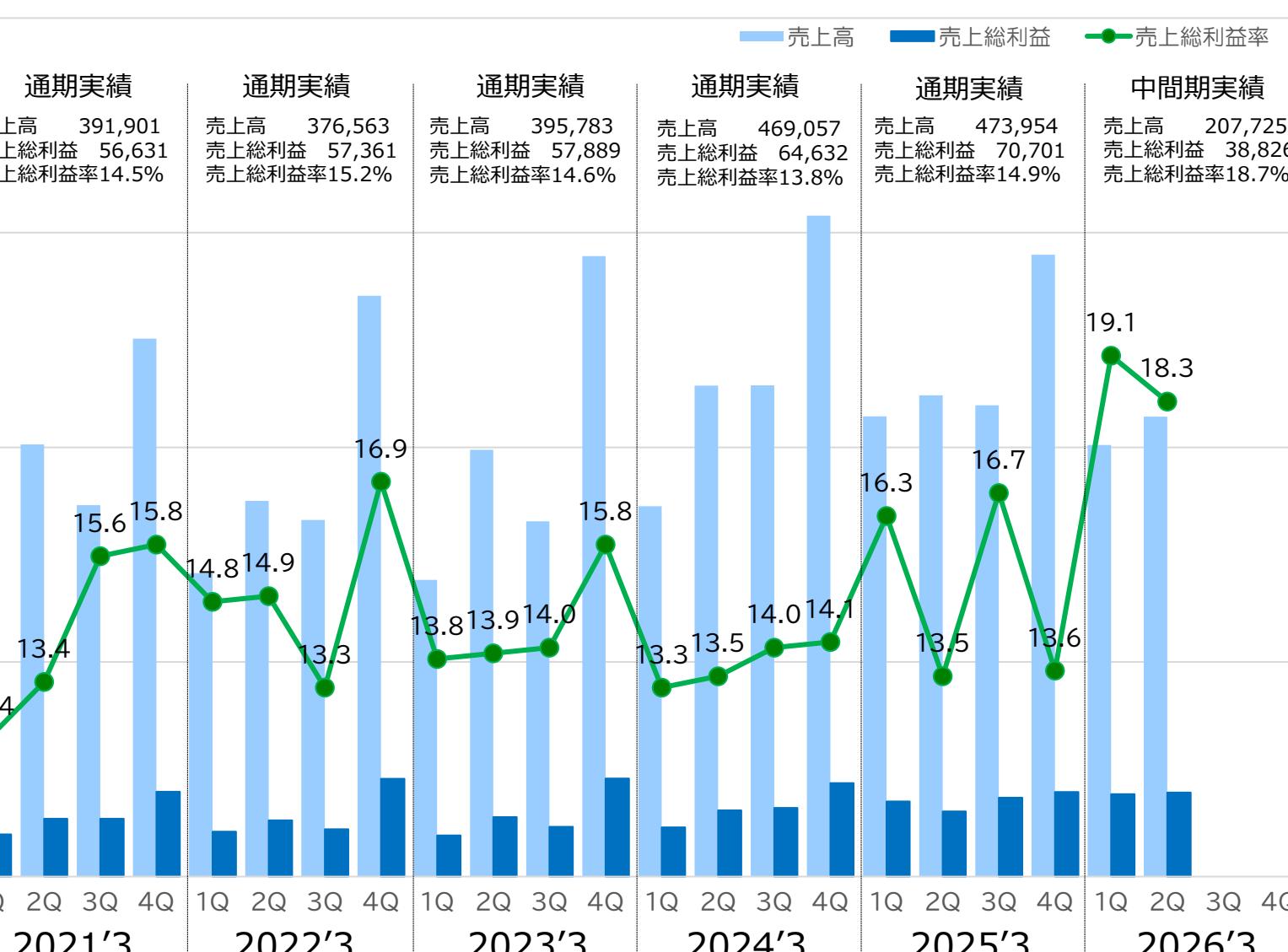
18.0

16.0

14.0

12.0

10.0



人財の採用実績（クラフティア単体）と期末要員数実績

«技術・技能者の定期採用人数実績»

	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025
技術・技能合計	384	342	336	387	306	259	292	357
高卒	271	253	253	263	225	187	196	231
大卒	113	89	83	124	81	72	96	126

«2025年4月 採用実績の他社比較»

	クラフティア	電気工事大手	空調工事大手	スバル・ゼネコン
全職種合計	402名	150～450	90～130	250～460
高卒	242名	70～250	0～20	10～100
大卒	160名	80～200	80～130	250～420

«期末要員数実績»

	2021.3	2022.3	2023.3	2024.3	2025.3	2025.9
電気部門	2,359	2,468	2,519	2,563	2,620	2,788
空調衛生部門	1,188	1,212	1,202	1,216	1,254	1,324
電気・空調衛生部門の期末要員数	3,547	3,680	3,721	3,779	3,874	4,112
配電部門	1,566	1,519	1,471	1,437	1,438	1,487
その他の	1,469	1,508	1,516	1,514	1,547	1,338
クラフティア単体従業員数	6,582	6,707	6,708	6,730	6,859	6,937
グループ従業員数	10,198	10,528	10,626	10,687	10,935	11,191

«グループ従業員約11,100名の内、約9,000名が技術・技能者»

$$\begin{array}{r}
 \begin{array}{r}
 \text{技能工数} \\
 \text{技術者数}
 \end{array}
 \begin{array}{r}
 \text{(クラフティア)} \\
 \text{約2,200} \\
 + \\
 \text{約3,400}
 \end{array}
 \begin{array}{r}
 \text{(子会社)} \\
 \text{約2,100} \\
 + \\
 \text{約1,300}
 \end{array}
 \begin{array}{r}
 = \\
 = \\
 \text{(グループ)} \\
 \text{約4,300} \\
 \text{約4,700}
 \end{array}
 \end{array}$$